

住宅との一体感とディテールにこだわった大型屋根発売



YKKAPは10月10日、高級住宅向けの大型屋根カーポート「エクステリア ルーフ」を発売する。

住宅とエクステリアの一体感にこだわった、アルミ型材製の屋根商品。厚みを感じさせない柱の見付、シャープさを強調した呼び樋、屋根に浮遊感を与える束など、素材感とディテールに配慮。空間をドラマチックに演出する照明にもこだわった。2018年度グッドデザイン賞を受賞。

耐積雪強度30・50cm相当、耐風圧強度46m/s。

幅3420・5580・6300・8100、長5100・5700、高2325・28

25mm(幅8100、梁延長仕様は来春発売予定)。本体2色、屋根・破風2色、軒天4色。

参考価格は422万4000円(耐積雪30cm、軒天木調色、ダウンライト付き、幅6300x長5100x高2825mm)。

情報提供: YKKAP・新建ハウジング

国交省、新・不動産業ビジョンの検討を開始

国土交通省は、人口減少や急激な高齢化など社会・市場の変化に対応する新しい不動産業ビジョンの策定に取りかかる。2018年度中の策定を目指す。

新ビジョンは、2030年頃に向けて不動産業が持続的に発展していくための施策の方向性や具体的な施策などを盛り込む。従来型の不動産業にとらわれず、他産業との連携や他産業の事業領域への拡張も含めて検討する。不動産の開発・分譲業、流通業、管理業、賃貸業といった従来の枠組みに加えて、証券化など新しい領域も含め、「不動産業」の定義そのものから見直しを図る。

10月5日の部会では、国交省が新ビジョンの骨子イメージを提示。今後の不動産の目指すべき姿として、社会のニーズに対応した質の確保、生産性向上への対応、グローバル社会への対応、都市部・地方部それぞれの持続的成長を支える一の4つの方向性を示した。不動産業界関係者からは、構造的な需要減少予測からくる閉そく感を打破するような新しいビジョンを期待する声が上がった。



情報提供: 国土交通省・新建ハウジング

腕・腰の負担を軽減する補助スーツ

腰や膝を曲げると腕のベルトが引っ張られて持ち上げ動作を補助。



早大と旭蝶繊維が共同開発

早稲田大学理工学術院の田中英一郎教授の研究グループは、旭蝶繊維(広島県府中市)と共同で、持ち上げ動作時にゴムベルトおよび布の変形収縮により腕と腰を補助するスーツ「e.z. UP・イメージアップ」を開発した。

職業疾病の6割を占めるといわれる腰痛を軽減する補助装置として、従来の持ち上げるときに、負担を軽減するモータや空気圧などを使用した高価で重量のある装置に替わり、過去に田中研究室で学生と開発したゴムベルトにより腕が持ち上げられる構造を基に補助スーツを開発した。

持ち上げ動作時の筋活動が最大値で3~5割程度軽減。1分程度で装着可能。背面にある四角形の布の対角線の一方が伸びると他方が縮み左右非対称の動作に対応し、2層の伸縮性のある布が段階的に脊柱起立筋を補助する。

2019年1月の発売開始を予定している。

情報提供: 新建ハウジング